

【はじめに】取材依頼求む

暑い日が続いておりますが、皆様お元気に過ごしてでしょうか。「JOHOKU SHINDAN 誌」では、診断士として有益な情報を数多く紹介していきたいと思っております。皆さまからの情報提供を募集中です。「メンバーを募集するにあたり活動紹介をしたい」「研究会を取材してほしい」「診断士の活動について知りたいことがある」「支援先で面白い製品が出たのでPRしたい」「本誌の編集作業に携わってみたい」など、どんな些細なことでも大歓迎です。johoku.kouhou@gmail.com まで、メールをお送りください。

【観光経営研究会セミナー「東京の観光振興」】

観光経営研究会は、7月18日（土）、「東京の観光振興」をテーマにセミナーを開催しました。東京都産業労働局観光部振興課長の若林和彦様を講師にお招きし、約20名が参加し、活発な意見交換が行われました。

日本を訪れる外国人旅行者数は、平成26年、過去最高の1,341万人でした。平成27年5月までの累計は、750万人を突破し好調なペースで推移しています。

東京都も、平成26年12月、「おもてなしの心で世界中から訪れる人々を歓迎する都市の実現」を都計戦略の一つとし、外国人旅行者数を増やす目標をたてました。2020年までに東京を訪れる外国人旅行者数を年間1500万人（平成26年は887万人）にまで引き上げようというものです。

具体的には、以下の施策を展開していきます。

- ① ウェブサイトでの多言語でのきめ細かい観光情報の提供
- ② 地方と連携し、双方の魅力を活かした広域での外国人旅行者誘致の推進
- ③ 「伝統と革新が交差しながら、常に新しいスタイルを生み出すことで、多様な楽しさを約束する街—東京」を強く印象付ける「東京ブランド」確立
- ④ MICE（企業系会議・起業の報奨や研修旅行・国際会議・展示会等イベント）を誘致する取組み
- ⑤ 外国人旅行者がひとりでもまち歩きが楽しめるような、「Wi-Fiの整備」「デジタルサイネージの活用」「道路・交通機関等の表示・標識等の多言語化」
- ⑥ 観光ボランティアを育成し、街なか（新宿駅、上野駅周辺）での観光案内を開始し、新宿駅南口には新たな観光情報センター開設を予定
- ⑦ 食や伝統文化など、地域の多様な魅力を活用した観光まちづくりの支援や、地域のアイデアと民間事業者のノウハウを結びつけ、特産品や旅行商品などの開発を推進

東京都の観光振興施策のなかでも、私たち中小企業診断士にとくに関係



中小企業診断士の役割や観光ボランティアの活用についての意見交換
右から、若林課長・長谷川先生・森田先生・朝倉先生

の深い施策が、「地域資源発掘型実証プログラム事業」です。

東京にも、まだ活用されていない資源がたくさんあります。

当事業では、地域資源を活用するためのアイデアを観光協会や NPO 法人等から募集します。商工会議所・商工会・商店街も、応募できます。

会場では、ほとんどの旅行プランナー、江沢様もいらっしゃいました。江沢様からも、外国人観光客についての鋭い分析を伺うことができました。※江沢様のお仕事の様子が7月20日(月)、NHK 番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」で放映されました。

ますます増加する外国人観光客に対して、多くの地域や中小企業は、まだ十分な準備が整っていません。中小企業診断士としての役割を考える機会をいただいたセミナーでした。

【支部活動潜入レポート】支部大会にてチャレンジ賞を発表 5月16日(土)

5月16日(土)、御徒町のオーラムにて支部大会が行われ、多くの先生方が参加されました。

その中で、チャレンジ賞の発表が行われました。チャレンジ賞とは、1年間の活動の中で、支部の発展に寄与するものを会員の推薦の中から選ばれるもので、賞状と賞金がもらえます。

本年度、選出された、4名先生と1グループの受賞理由をご紹介します。

○鶴岡成先生

多くの商店街で「まちゼミ」立ち上げと実施支援に努めるとともに、その内容を発表した東京都中小企業診断士協会認定研究会プレゼンコンペでも最優秀賞を受賞した。

○黒川敏先生

地域支援部の東北支援プロジェクトへの積極的な参画、商店街にぎわい再生事業でのプロジェクトリーダーを務めるなど、さまざまなイベントや事業で推進役としての活動が高く評価された

○大山ふみ子先生

中小企業診断士として経営改善策を現場で推進しマスコミにも取りあげられるなど診断士の活躍を対外的に広めた。また中小企業勤務の傍ら主婦と育児にも専念し、当支部も推進している女性の活躍を自ら実践している。

○片桐文夫先生

実務従事事業の円滑な運営、ものづくり補助金事務局として当支部会員の職域拡大への貢献、また研修会の講師等で多くの有効な情報発信に努められたことが高く評価された。

○広報部

城北支部 55 周年記念誌及び E ニュース JOHOKU SHINDAN 誌の企画推進などの活動が高く評価された。



鶴岡先生



片桐先生



黒川先生



大山先生



多くの先生方が参加

【本誌に関する皆さまのご意見、ご要望をお待ちしております】

①皆さまがお持ちの“ネタ”を提供してください

- ・研究会・区会の活動を紹介したい、または、ご自身のセミナーを紹介したい。⇒広報部員が潜入します
- ・ご自身の特技を紹介したい。支部内の方と交流したい。⇒「今月の城北人」のコーナーで紹介します
- ・診断士としてのノウハウを紹介したいなど ⇒特集記事化します。

②皆さまが知りたいことを教えてください

- ・企業内診断士の活動状況が知りたい。
 - ・独立するには、どうしたらいいかを知りたい。
- ⇒各種 特集を組んで記事を作成します。

③読者としての（批判も含め）感想をお聞かせください

- ・批判的な内容もお願いします。今後の改善に活用させていただきます。

④本誌編集スタッフ募集中

- ・「隙間時間にちょっと」「アイデアを出すだけ」でも構いません。
- 問い合わせ先 城北支部広報部：

johoku.kouhou@gmail.comまで よろしくお願ひ致します。

JOHOKU SHINDAN 誌 ～第8号～

2015年8月23日発行

発行者：城北支部長 朝倉久男

編集者：城北支部 広報部